

平成27年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民文化スポーツ部
文化スポーツ振興課

施設名	弘前市立温水プール石川
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字小金崎字村元125番地
指定管理者名	公益財団法人 弘前市体育協会
指定期間	平成26年4月1日から平成36年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。</p> <p>施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>これまで利用率が低かった研修室を利用した自主事業など、フィットネス関係の教室や文化イベントの開催など実施し、施設の有効活用とスポーツ・文化振興に寄与している。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>安全管理、事業やサービス提供に関するもの、管理職の管理能力向上に関するもの等の各部会を設立し、会議・研修・研究会を実施し管理体制の強化とサービス向上に努めている。パンフレット、月間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物により情報提供に努めている。</p> <p>また、施設の特性とニーズに合わせた収益事業を展開するなど、積極的に取り組みに努めている。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>ご意見箱、ホームページでのお客様の声、SNS(Facebook)などにより、意見・要望を把握するとともに、対応策を検討・対応している。</p> <p>また、期間を定めた集中アンケートの実施や自主事業実施の際にもアンケートを実施し、市民ニーズの把握に努めている。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>利用件数326件（前年比109%）、利用人数38,084人（前年比107.8%）となっており 研修室は利用件数及び人数が前年比170%超えと自主事業開催により成果を挙げている。多目的広場及び健康ルームも広報活動により利用率を大幅に上げている。</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>再委託業務仕様内容の変更（必要度の査定及び近似業務の統一化）、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により、適正に行われている。</p>

7 実地調査の結果

自主事業の積極的な取り組みや、施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

利用件数：目標 234件 実績 326件 達成度139.3%
 利用人数：目標 29,530人 実績 38,064人 達成度128.9%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	従来の維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全管理、サービス提供を計画を上回り実施することが出来たため。	使用料の取り扱い等についてコンプライアンスを徹底させるための職員研修を実施し、定期的な内部会計監査を実施したが、今後も継続的な実施が必要である。
施設の管理	A	再委託業務の効率化により、指定管理料の範囲内で十分な維持管理を実施できたため。	より効率的な計画の実施と職員の管理業務の能力向上が必要である。
経理の状況	A	指定管理料の長期的な執行計画を基に適正に執行できたため。	指定管理料を超える不測の事態(修繕)に備えた予算確保
団体の財務状況	B	指定管理料及び収益事業を適正に管理し予算範囲内で財務状況を維持できたため。	組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要である。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	適正な施設運営や施設の有効活用、魅力ある自主事業の実施により利用者数を伸ばしている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	B	快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っており、また個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設や備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	今後も適正な経理執行に努めていただく。
団体の財務状況	B	自主事業等による収益もあり、安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告、 <u>市の施策推進のための組織体制や取り組みの強化、市内及び全国的なスポーツ団体や大手スポーツメーカーなどとの連携強化、他の社会体育施設と連携した運営など</u>
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する